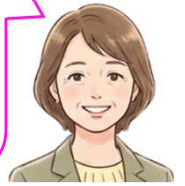


小学校の教員として、幼保小連携・接続のために何を知らなければならないの？

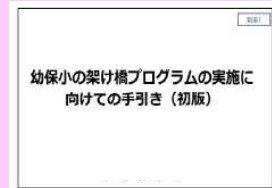


幼児期は「遊び」を通して、学びの土台となる資質・能力を身に付ける時期です。小学校等においては、学びをゼロからスタートするのではなく、幼児期に身に付けた資質・能力を生かし、伸ばしながら教科等の学びにつないでいくことが大切です。子どもの育ちと学びをつなげていくために、小学校区ごとに「幼保小の架け橋プログラム」を進めていきましょう。



【幼保小の架け橋プログラム】とは

5歳から小1の2年間で「架け橋期」と位置づけ、すべての子どもに、**学びや生活の基盤**を保障するため、自治体のリーダーシップのもと、カリキュラム開発会議等、**体制を整え**、架け橋期にふさわしい**カリキュラムを作成・評価**することで、**教育の充実・改善**を目指す取組です。



詳しくは、文部科学省のホームページへ！
幼保小の架け橋プログラム 検索

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ



幼児教育は何のため？
(約2分)



「遊び」は「学び」って
どういうこと？
(約7分)



幼児期は、「遊び」の中で周囲のヒト・モノ・コトに自ら進んで関わりながら、豊かで多様な体験を通して、様々な「学びの芽」を育てていく時期です。

◎園との交流の前に、こちらの動画を視聴してみましょう。



出典：YouTube文部科学省/mextchannel「幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ」

「幼稚園教諭・保育教諭・保育士・小学校教諭等の合同研修会」を開催します。

第1回 6月18日(木) 会場 米子コンベンションセンター

講師：鳥取県教育委員会事務局 特別支援教育課 参事監 加藤 典子 氏

テーマ：特別支援教育 対象者：管理職・特別支援教育担当者等

講義・演習：「(仮)子どもの育ちを支える環境づくり」

第2回 7月10日(金) 会場 米子市文化ホール

講師：岐阜聖徳学園大学 教授 西川 正晃 氏

テーマ：幼保小接続 対象者：幼保小連携担当者・参加を希望する者

講義：「(仮)遊びから学習へつなぐ幼保小の架け橋プログラム—学びに向かう力を視点として—」

演習：「(仮)幼児期の学びを生かした生活科単元をデザインしよう」



詳細につきましては、4月20日付西部教育局通知でご確認ください。たくさんのご参加をお待ちしております。

参加申し込み
Forms→

